

FUJITSU

プライマジー

VMware on FUJITSU Server PRIMERGY PCサーバ

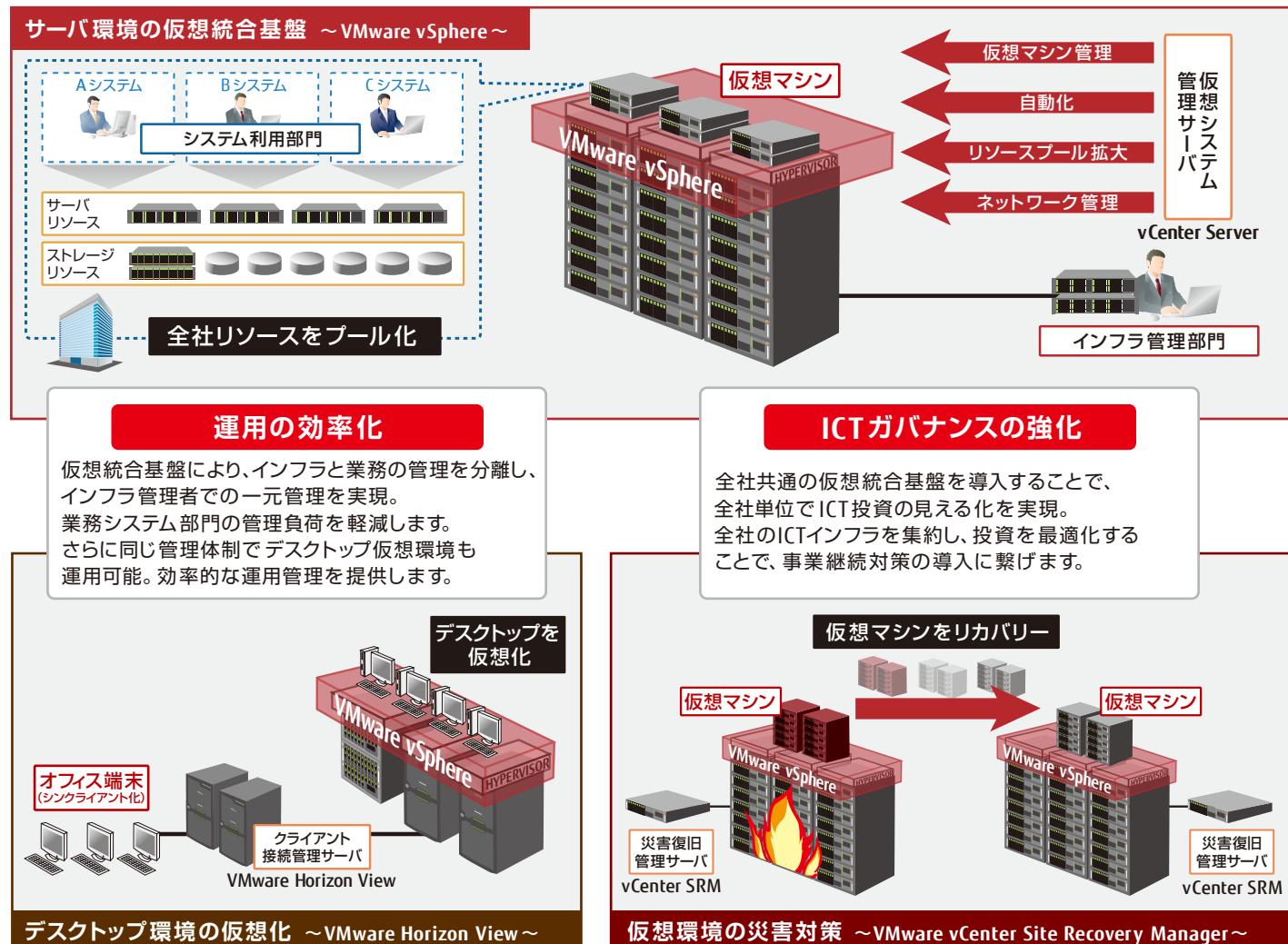


shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

ICTインフラを統合する仮想統合基盤の導入が進んでいます TCO削減、ICTガバナンス強化、全社インフラのサービス向上をお約束する、VMware on FUJITSU Server PRIMERGY

当社FUJITSU Server PRIMERGYと仮想化ソフトウェアVMware vSphere/Horizon Viewにより、オフィスのデスクトップ環境からサーバシステムまで、お客様のさまざまな仮想化ニーズにお応えし、効率よく仮想化を実現します。さらに、VMware vCenter Site Recovery Managerを導入することで仮想化環境の事業継続対策も可能です。富士通では、仮想システムを構築するハードウェア製品、仮想化ソフトウェアに加え、物理/仮想の統合運用および、プライベートクラウドを実現する管理ソフトウェアやサービスなど、お客様の仮想化システムを総合的に支えるラインナップにより、システムの柔軟性の向上、運用の効率化から安心・安全の提供まで、幅広い仮想化ソリューションを提供します。



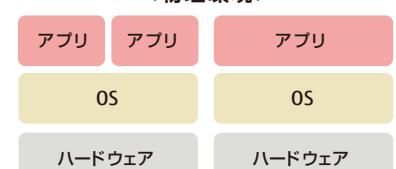
サーバの仮想化技術とは

サーバの仮想化技術とは、1台の物理サーバのリソースを分割し、仮想化したサーバを複数動作させる技術です。

この技術により、1台のサーバ上で複数のシステムを同時に実行することができます。

同じサーバ上で動作している仮想的なサーバに割り当てられたリソースは独立しているため、互いに影響を与えることはありません。

<物理環境>

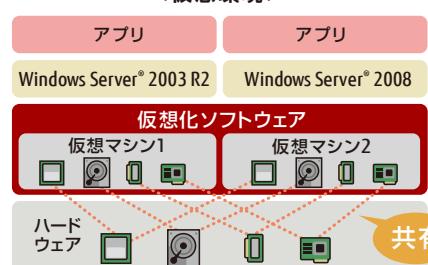


- 1台のサーバ上に1つのOSしか実行できない
- サーバのリソースが有効に使用されないケースがある
- システムの追加 = ハードウェア + OS + アプリケーション

物理サーバで構成されているシステムよりも、仮想化したサーバはハードウェアリソースの有効活用、ハードウェアとOS更新サイクルの分離、仮想サーバの作成／変更／削除が迅速に自由におこなえるなどのメリットがあります。

さらに複数のサーバで仮想化し、相互に補完しあうことにより、可用性を高めることができます。

<仮想環境>



- 物理ハードウェア(CPU、メモリ、HDD、ネットワークカード等)を仮想マシン間で共有
- 仮想マシン上でOSが動作
- 仮想マシンのコピー・展開が容易*
- 各仮想マシンが独立して稼働(仮想マシン1のトラブルは仮想マシン2に影響を与えない)

*仮想マシン上のOSのライセンスは仮想マシンごとに必要です。

VMware vSphere ラインナップ

中～大規模システム／データセンター向け仮想化ライセンス

VMware vSphere 5 Enterprise Plus

企業・団体レベルで導入するサーバを仮想マシンで標準化し、サーバの導入から運用管理までライフサイクル全体の効率化を実現するパッケージです。VMware vSphere5のフル機能を含み、共有ストレージやネットワークを含む仮想化インフラの動的構成変更などフレキシブルな運用管理を可能にします。また、Enterprise Plus 6CPU分ライセンスに、vCenter Server 5 Standard 1本をセットにしたパッケージEnterprise Plus Acceleration Kitもご用意しています。VMware vSphere with Operations Management 5 Enterprise Plusは、VMware vSphere 5 Enterprise PlusとVMware vCenter Operations Management Suite 5 Standardをセットにした製品です。

VMware vSphere 5 Enterprise

消費電力の最適化やビジネス優先順位に基づいた仮想マシンの動的割り当て、ダウンタイム削減、データ保護、およびリソース管理のための主要機能を含んだパッケージです。また、Enterprise 6CPU分ライセンスにvCenter Server 5 Standard 1本をセットにしたパッケージEnterprise Acceleration Kitもご用意しています。VMware vSphere with Operations Management 5 Enterpriseは、VMware vSphere 5 EnterpriseとVMware vCenter Operations Management Suite 5 Standardをセットにした製品です。

VMware vSphere 5 Standard

1台のサーバで複数の業務を動作させる基本利用から、複数台で可用性を高めたサーバ集約まで活用できるパッケージです。また、Standard 6CPU分ライセンスにvCenter Server 5 Standard 1本をセットにしたパッケージ Standard Acceleration Kitもご用意しています。VMware vSphere with Operations Management 5 Standardは、VMware vSphere 5 StandardとVMware vCenter Operations Management Suite 5 Standardをセットにした製品です。

小規模システム向け仮想化ライセンス

VMware vSphere 5 Standard Limited Edition

小規模な仮想環境の導入を検討されているお客様向けに、PRIMERGY TX150 S8と一緒に購入かつ、購入サーバ上でのみの利用に限定したライセンス製品です。Standardエディションの他、vCenter Server 5 Foundationをバンドルした商品もご用意しています。

小規模部門／店舗利用向けセット商品

VMware vSphere 5 Essentials Plus with VSA

VMware vSphere 5 Essentials Plus

VMware vSphere 5 Essentials

小規模な仮想環境向けに特化したエディション。1つのシステム内で利用できるESXiサーバの台数を3台までに限定し、PCサーバ仮想化の基本機能をお手軽にご利用いただけるパッケージです。小規模な部門システムでの導入や、初めてPCサーバ仮想化を導入されるお客様に最適です。

仮想化環境向け管理ライセンス

VMware vCenter Server 5 Standard

VMware vCenter Server 5 Foundation

vSphere ESXiや仮想マシンの設定、監視等を一元的に管理し、管理者の負担を大幅に軽減します。3台までのESXiサーバを管理できるFoundationと、1000台までのESXiサーバを管理し、さらにLinked Modeなど多数台サーバの管理を容易にする機能を備えたStandardの2種類のエディションをご用意しています。

VMware vCenter Site Recovery Manager 5 (SRM) Enterprise

VMware vCenter Site Recovery Manager 5 (SRM) Standard

VMware vCenter Serverの拡張機能で、災害時などに、予め用意された復旧用vSphereサイトでの仮想マシン復旧プロセスを支援する製品です。

VMware vCloud Suite 5 Standard

VMware vCloud Suite 5 Advanced

VMware vSphere基盤上に、Software-Defined Datacenter(ソフトウェア定義のデータセンター)を実現するために必要な製品を1つのパッケージにした統合ソリューションです。

VMware vCenter Operations Management Suite 5 Standard

VMware vCenter Operations Management Suite 5 Advanced

VMware vSphere基盤の情報を収集・蓄積し、リソース使用量の傾向や変化をシステムが評価分析することによって、仮想化環境の効率的な利用と問題の早期発見を支援します。

Vmware vSphere エディション別機能一覧

推奨システム	中～大規模システム／データセンター向け仮想化ライセンス			1WAYサーバ専用	小規模部門／店舗利用向けセット商品			
機能	エディション	Enterprise Plus	Enterprise	Standard	Standard Limited Edition	Essentials Plus with VSA	Essentials Plus	Essentials
Update Manager	●	●	●	●	●	●	●	●
Thin Provisioning	●	●	●	●	●	●	●	●
vMotion	●	●	●	●	●	●	●	—
HA	●	●	●	●	●	●	●	—
Data Protection	●	●	●	●	●	●	●	—
vShield Endpoint	●	●	●	●	●	●	●	—
vSphere Replication	●	●	●	●	●	●	●	—
Storage vMotion	●	●	●	●	●	—	—	—
FT	●	●	●	●	●	—	—	—
Hot Add	●	●	●	●	●	—	—	—
DPM	●	●	●	●	●	—	—	—
DRS	●	●	—	—	—	—	—	—
VAAI	●	●	—	—	—	—	—	—
Big Data Extensions	●	●	—	—	—	—	—	—
Storage DRS	●	—	—	—	—	—	—	—
Profile-Driven Storage	●	—	—	—	—	—	—	—
Storage I/O Control	●	—	—	—	—	—	—	—
Distributed Switch	●	—	—	—	—	—	—	—
Network I/O Control	●	—	—	—	—	—	—	—
Auto Deploy	●	—	—	—	—	—	—	—
Host Profiles	●	—	—	—	—	—	—	—
VSA	—	—	—	—	—	●	—	—

●：機能あり、—：機能なし

ヴイエムウェア社認定PCサーバPRIMERGYとVMware vSphereの高度な機能をフル活用し、仮想統合基盤の効率的な運用を実現

拡大していく仮想統合基盤の運用には、リソースのプール化が必要不可欠になります。VMware vSphere Enterprise Plusの各種機能にvSphereと親和性の高いPRIMERGYを組み合わせることで、仮想マシンの追加やリソースプールの管理・拡大といった運用の作業負荷を劇的に軽減。さらに、様々なサービスレベルで運用される仮想マシンの混在環境時もシステムの安定稼働を実現します。

リソースプール運用による仮想統合基盤の最適化

個々のシステム管理からリソースをプール化して一元管理することにより、大幅なハードウェアリソースの利用効率を向上 / 管理工数を削減

●仮想マシン追加時の作業簡易化とサーバリソース運用の最適化

vCenter Serverのテンプレート機能により、OS / アプリケーションを含めた仮想環境をテンプレートとして保存・再利用することで、いつでも簡単に仮想マシンの追加が可能です。さらにvSphere DRS / Storage DRSを組み合わせることで、リソースプール全体の負荷状況に応じて最適なサーバ・ストレージの展開先を自動的に選択します。

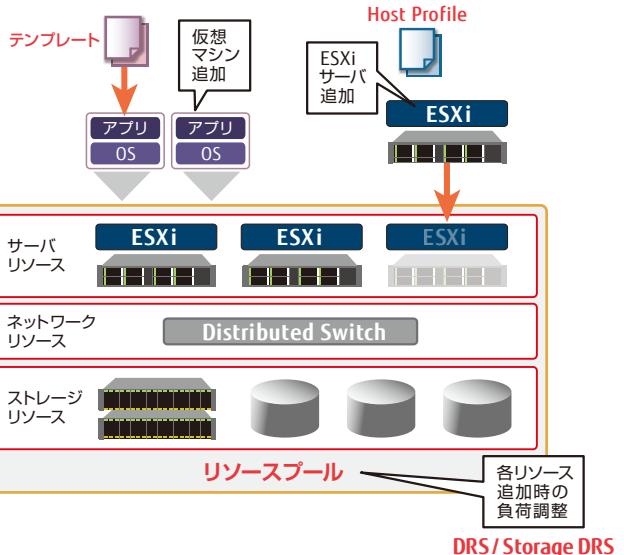
●ESXiサーバ構築の簡略化

サーバリソース追加時には、ESXiサーバの設定情報を予め準備・適用するvSphere Host Profileを利用することで、ESXiサーバのセットアップ作業を簡略化します。さらにvSphere Auto Deployを組み合わせることで、ESXiサーバの大量展開時にもネットワーク経由で素早い対応が可能です。

●リソースプール単位でのネットワーク一元管理

vSphere Distributed Switchにより、サーバ単位のネットワーク管理ではなく、複数サーバからなるリソースプール全体でのネットワークの一元管理が可能です。

■ VMware vStorage APIs for Array Integration (VAAI)とこれに対応したFUJITSU Storage ETERNUSを利用することにより、これまでESXiサーバで行っていた作業をストレージ装置側で行うことで、データ処理の高速化やサーバの負荷軽減を実現できます。



■ PRIMERGYではvSphere ESXiを予めインストールしてお客様にお届けするオプションをご用意。リソースプール拡大時の作業工数削減に貢献します。また、PRIMERGY標準搭載ツールのリモートマネジメントコントローラにより、サーバの電源ON/OFFなどの各種管理をリモートで操作できるため、運用管理性が向上します。

リソースの自動管理による仮想マシンのサービスレベル維持

リソース競合の自動解決により、サービスレベルの異なる仮想マシンを利用するユーザー環境の快適運用を実現

●ネットワークリソースの自動管理

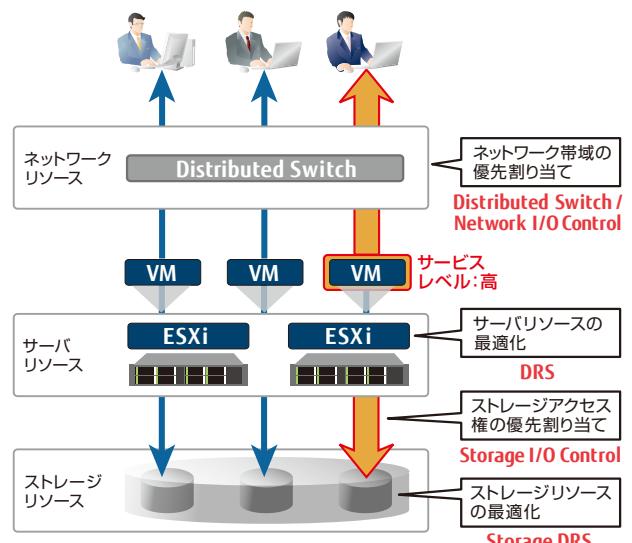
vSphere Distributed Switchで管理された環境では、vSphere Network I/O Controlと組み合わせることで管理者からは見つけにくい各種リソース競合をいち早く検知し、仮想マシン間でのネットワークリソース競合を自動で解消することができます。高いサービスレベルの仮想マシン向けに、自動で優先的にネットワーク帯域を割り当てるなど、リソースの配分により運用に合わせたサービスレベルを維持します。

●ストレージリソースの自動管理

Storage DRSと、vSphere Storage I/O controlを利用して仮想マシン間でのストレージへのアクセス競合を自動で解消することができます。

●サーバリソースの自動管理

vSphere DRSを利用して、サーバの負荷に偏りがでないよう仮想マシンを動的に最適配置します。



VMware vSphereの様々な仮想化機能により、効果的なTCO削減とオフィスのサーバ運用を最適化

複数サーバの仮想化から、大規模システム集約まで、フレキシブルな仮想化インフラの運用を可能にし、リソースを柔軟に管理する VMware vSphere の各種機能と、高い信頼性を誇る PRIMERGY、物理 / 仮想サーバの統合運用を実現する FUJITSU Software ServerView Resource Orchestrator を活用することにより、お客様のデータセンターシステム運用に最適な仮想化環境を提供します。

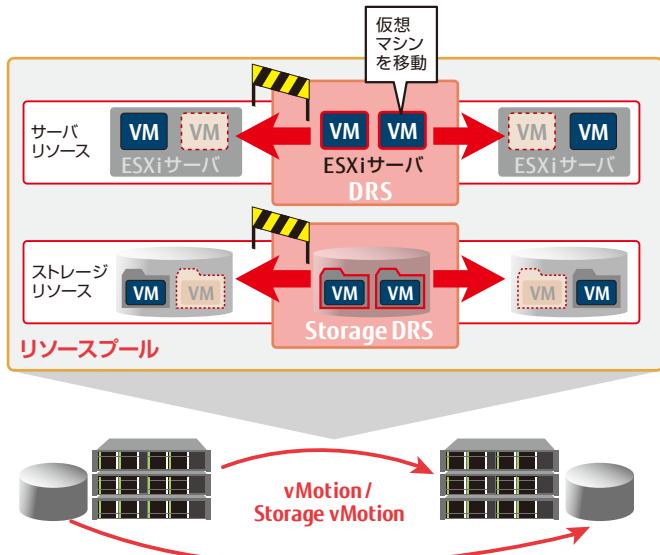
サーバ運用の強化

仮想マシンを止めずにハードウェアの保守を実現。
さらに自動で負荷分散を行うため、
ハードウェアを意識しないサーバ運用を実現

●仮想マシンのライブマイグレーションによる運用負荷の軽減

Enterprise Plus Enterprise
VMware vMotion / VMware Storage vMotionにより、仮想マシンを稼働させたまま、別の物理サーバ／ストレージへ移動ができるので、平日の日中でもハードウェアの電源を停止して保守作業ができるようになり、管理者の負担を大きく軽減します。

さらに、vSphere DRS / vSphere Storage DRS を併せて活用することで、移動対象の仮想マシンを全て一度に移動させることができます。仮想マシンの退避先に迷わず作業ができるため、仮想統合基盤のようにサーバ／ストレージが複数あるシステムや、集約率が高い環境に最適です。



業務継続性の向上

リソースプール内の業務の可用性を向上するだけでなく、災害対策向けに遠隔環境における業務の継続性を向上

●仮想マシンの可用性を向上

vSphere HAはサーバダウンを検知し、正常なESXiサーバ上に仮想マシンを自動で再起動することで、コールドスタンバイ相当の可用性を提供、またvSphere FTにより、サーバダウン時には、業務を止めずに正常なESXiサーバ上で稼働している仮想マシン(セカンダリ)に処理を引き継ぐことができます。



●遠隔地にある仮想環境の復旧を支援

vCenter Site Recovery Managerにより、災害時などでサイトが利用できなくなった際、予め用意された遠隔地のリカバリーサイトにおける仮想マシンの再起動プロセスを自動化することで、迅速な業務復旧を実現します。ストレージ装置側にてデータをリモートで同期するほか、ESXiサーバ上の仮想マシンの登録 / 起動順序の制限やIPアドレスの変更などを自動化します。

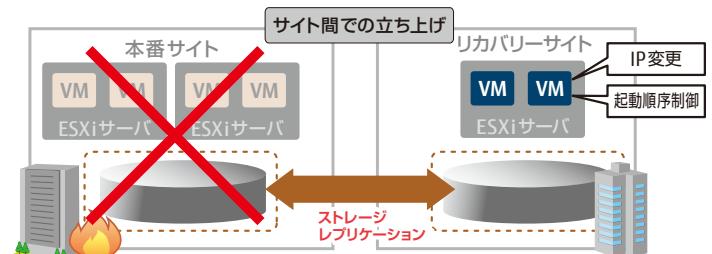


vSphere HA

サイト内での立ち上げ



vCenter Site Recovery Manager



VMware vCloud Suite 5

VMware vCloud Suite 5は、セルフサービスによるエンドユーザーへの仮想マシン提供、組織単位でのリソース提供などの、IaaSを実現するソフトウェアです。VMware vCloud Suite 5に含まれる複数のコンポーネントの機能を組み合わせて利用することで、エンドユーザーや組織の管理者は物理的なネットワーク構成やハードウェアリソースを特に意識することなく、仮想マシンを利用することができます。

VMware vCloud Suite 5に含まれるコンポーネントにより、以下の機能を提供します。

●vCloud Automation Center

企業のICTポリシーに従って、仮想マシンをエンドユーザーへ貸し出すポータルサイトの提供。

●vCloud Director

システム管理者から組織管理者へ仮想データセンター単位でリソースの提供。

●vCloud Networking and Security Standard

vSphereのネットワーク機能を拡張し、仮想データセンターの構築に必要なネットワークサービスやセキュリティ機能の提供。

vCenter Operations Management Suite 5

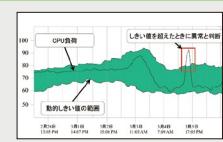
VMware vSphere基盤の情報を収集・蓄積し、リソース使用量の傾向や変化をシステムが評価分析することによって、パフォーマンスのボトルネックの可視化、将来のキャパシティ予測など、仮想化環境の効率的な運用と健全性確保を支援します。

●仮想環境全体の状況表示

仮想環境全体の状況をまとめ、評価した結果をスコアやバッジを使用して表示することができます。

●動的なしきい値

過去に蓄積した情報からお客様のリソース使用量の傾向を分析して、異常を判断するしきい値を動的に設定します。これにより、対処が必要なときのみ警告を出すことができるため、管理が容易になります。



柔軟なワークスタイルを実現する統合ソリューション VMware Horizon Suite 1

VMware Horizon Suite 1は、エンドユーザーのデスクトップやアプリケーション、ユーザーデータなどの作業環境を効率的に管理するための製品群です。VMware Horizon Suite 1には、「VMware Horizon View 5」、「VMware Horizon Mirage 4」、「VMware Horizon Workspace 1」から構成されています。

VMware Horizon Suite 1

デスクトップ仮想化ソリューション

VMware Horizon View 5

PC環境を仮想化し、管理サーバでデータを集中管理する「仮想PC方式」によるシングルクライアントソリューションを提供します。これにより、管理コストの削減とクライアントのセキュリティ/利便性の向上を実現できます。

階層型PCイメージ管理ソリューション

VMware Horizon Mirage 4

クライアントPCのディスクイメージの統合管理ソリューションを提供します。VMware Horizon Mirageを使用することで、バックアップ/リストア、端末故障時の復旧、OS環境やアプリケーションの更新、OSの移行など、クライアントPCの管理作業を効率化できます。

ワークスペース統合管理ソリューション

VMware Horizon Workspace 1

アプリケーションとユーザーデータにアクセスするためのWebポータルを提供します。システム管理者が管理するWebポータルにアクセスするだけで、エンドユーザーは任意の端末から業務に必要なアプリケーションとユーザーデータを利用することが可能になり、業務環境の利用と管理の効率化を行うことができます。

VMware Horizon View 5によりデスクトップ仮想化を実現 運用効率を高めつつセキュリティ向上と事業継続性を確保

VMware Horizon Viewは膨大な数のデスクトップ環境をVMware vSphere基盤上に仮想集約し、統合管理を実現。

運用効率の向上

VMware vSphereのメリットを最大限に活かして管理業務を効率化

● 高度な統合率

1台のホストに100台以上の仮想デスクトップを集約でき、ハードウェア資産を最大限に有効活用できます。

● 運用の自動化

VMware vSphereの特長であるvMotionやDRSなどの運用自動化機能はデスクトップ仮想化でも使用でき、高信頼性・高可用性が確保できます。

加えて、VMware Horizon View独自の機能として、仮想デスクトップを自動的に補充することができるため、利用者の増減にも柔軟に対応できます。

● 高性能な画面転送プロトコル

VMware Horizon Viewには、PCoIPと呼ばれる独自の通信プロトコルが実装されています。従来のリモートデスクトッププロトコルと比較して、使用帯域を大幅に削減でき、ネットワークリソースを効率的に利用できます。

PCoIPは画面転送時の劣化が無いため、高精細でストレスのない環境を提供します。仮想環境で苦手とされる動画やCADにも十分な性能を発揮します。



セキュリティの向上

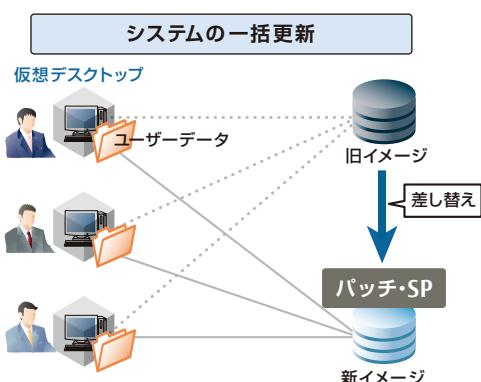
ユーザー環境のセキュリティリスクを大きく低減

● システムの一括更新

各仮想デスクトップのシステム部分を共有することができ、共有する部分を差し替えることでアプリケーションの導入・更新、OSへのセキュリティパッチ適用を全仮想デスクトップに対して漏れなく簡単に実行することができます。ユーザーは常にセキュリティが担保された安全な環境を利用できます。

● 情報漏洩リスクの軽減

クライアント端末と仮想デスクトップは完全に切り離されており、端末側には一切の業務データを残しません。また、可搬記憶媒体の利用もコントロールできるため、端末や可搬記憶媒体の紛失による機密情報の漏洩リスクを大きく軽減します。

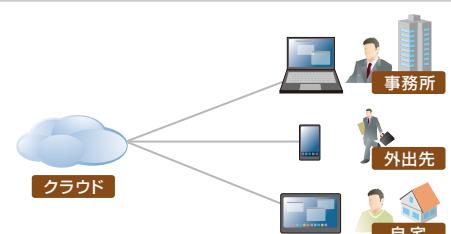


事業継続性の提供

近年重要視されている事業継続性を確保

● 災害対策とワークライフバランスの実現

オフィス外の別拠点や自宅から、いつでも同じ環境を利用することができます。そのため、災害対策やワークライフバランスの向上に最適なソリューションです。いつでも、どこでも、端末を選ばず業務を行えるため、利用者の生産性向上も期待できます。



VMware Horizon Suite 1 ラインナップ

VMware Horizon Suite 1

VMware Horizon View 5

VMware Horizon Mirage 4

VMware Horizon Workspace 1

VMwareの仮想化システム構築に最適な富士通PCサーバ PRIMERGY

PRIMERGYはインテル® マルチプロセッサー対応の高性能CPUを搭載し優れたパフォーマンスを発揮、高い集約率を実現する高性能サーバです。高信頼を実現する充実した機能を備えており、VMwareに対応したサーバ監視ソフトウェアFUJITSU Software ServerView Operations Managerを使用することで、トラブルの未然防止／早期発見を支援します。

ヴィエムウェア社認定 FUJITSU Server PRIMERGY・FUJITSU Storage ETERNUS ラインナップ^{※1}

ヴィエムウェア社認定ハードウェア PRIMERGYで構築したシステムにより、安心して仮想化システムをご利用になれます。さらに当社ではETERNUSディスクストレージシステムについてもヴィエムウェア社認定を取得し、お客様の仮想化システムニーズに合わせて自由に選択できるよう、豊富なハードウェアラインナップを取り揃えています。

*ヴィエムウェア社によるサーバ性能情報は右記URLにて確認できます (<http://www.vmware.com/a/vmmark/submitter/>)

タワー専用型

TX300 S8



ラック型

RX100 S8



ブレード

BX920 S4

BX924 S4

タワー / ラック兼用型

TX150 S8



RX300 S8
RX300 S7



ETERNUS ストレージ

DX series



VX series



NR series



TX200 S7



RX500 S7



RX600 S6



*1: サポート可能なVMwareの最新版については、弊社HP (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>) のVMware ESXiサポート版数一覧表を参照ください。

PRIMERGY組込専用オプション VMware vSphere Hypervisor 5.5用 USB Flash モジュール

サーバ本体に専用のUSB Flashモジュールを組み込んで提供する製品です。予めVMware vSphereプログラムがインストールされており、ライセンスキーを適用するだけで即日の利用が可能です。本モジュールと合わせてVMwareライセンス製品を購入頂くことで、ESXi機能に加えてエディションごとに各種コンポーネント機能を利用することができます。

●スピーディーで効率的な構築を実現

専用のUSB FlashモジュールからVMware vSphereプログラムを直接起動して使えるため、導入時のインストール作業が不要です。また、VMware領域としてはハードディスクを利用しないため、最小リソースで仮想化環境を構築できます。

●充実のOSオプションをラインナップ

サーバ本体のカスタムメイドオプションとして、仮想化環境を実現するライセンスVMware vSphere 5 Standard / Enterprise / Enterprise Plus及び、管理ライセンスのVMware vCenter Server 5 Standardを提供。さらに本オプションに標準でバンドルされるサポート製品は1年間平日または24時間365日サポートいずれかの選択が可能です。

*組込専用オプション / VMware OSオプションの詳細仕様及び適用可能な機種につきましては、弊社製品情報ページ (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/>)よりPRIMERGYシステム構成図をご確認ください。

サーバ監視ソフトウェア FUJITSU Software ServerView Operations Manager / ESXi CIM Provider

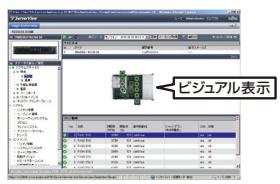
PCサーバ PRIMERGY向けのハードウェア監視ソフトウェアです。監視／検出したハードウェアの故障をコンソールで表示し、管理者にメールでタイムリーに通知することで、サーバの早期復旧とシステムの安定運用を支援します。

●予兆監視と確実な故障検出

サーバを構成するハードディスクやメモリ、プロセッサ、システムボードに至る多くの部品について、故障に至る前の予兆を監視するとともに、故障部分を特定します。さらに、サーバの周辺／内部温度、電源変動などの環境状況も監視することで、システム運用に高い信頼性を保持します。サーバ単体の監視だけでなく、複数サーバの一括監視も可能です。

●他システムとの容易な連携

サーバ監視ツールに共通規格準拠のインターフェースを使うことで、当社統合運用管理ソフトウェアFUJITSU Software Systemwalkerなど、さまざまな運用管理ソフトウェアとの連携により、サーバだけでなくネットワーク／ストレージ機器を含めたシステム全体の運用監視が可能です。



vSphereのスムーズな運用を支援する当社ミドルウェア／サービス

ダイナミックリソース管理ソフトウェア FUJITSU Software ServerView Resource Orchestrator

ICTリソースの有効活用と運用管理の効率化により、ICTのコストを最適化します。

●物理・仮想サーバの一元管理 (Express)

サーバの稼働状態の把握や電源操作、および物理と仮想の対応関係が同じGUI画面で管理できます。物理サーバと同様に仮想サーバも一括して管理できるので、運用効率の向上が図れます。

●プライベートクラウド基盤の運用管理 (Cloud Edition)

セルフサービスによる利用申請で論理プラットフォームを一括して自動配備できます。マルチプラットフォームのシステム構成、使用OSおよび申請処理を標準化することで、構築期間の短縮と運用管理の負荷軽減が実現できます。また、リソース使用量や稼働状況の監視とシミュレーションにより、リソースの全体最適化を支援します。

論理プラットフォーム：仮想マシン、物理マシン、サーバードラッグ＆ドロップ、ファイアウォールを含んだシステムのことです。

ストレージ基盤ソフトウェア FUJITSU Storage ETERNUS SF

vSphere環境に最適なストレージリソース管理とデータ保護により、仮想環境の事業継続を支援します。

●ストレージリソースの運用管理効率向上 (ETERNUS SF Storage Cruiser)

vSphere環境におけるストレージシステム全体の構成と稼働状況を可視化し、トラブル時の影響範囲や性能ボトルネックを的確に把握できます。また、vStorage APIs for Storage Awareness (VASA)に対応し、vCenter Serverの管理画面で ETERNUSストレージシステムのボリューム属性が可視化され、仮想管理と一体化したストレージシステム管理が実現できます。

●仮想環境のオンラインバックアップ (ETERNUS SF AdvancedCopy Manager)

業務をとめない仮想ボリュームの高速バックアップとゲストOS単位のリストアで仮想環境のデータを安全に保護します。さらに、ETERNUS SF TSM for VEと組み合わせることで、永久増分バックアップによるバックアップ時間の短縮および保管コストの削減と仮想マシン単位やファイル単位のリストアによる運用性の向上が可能です。また、vCenter Site Recovery Managerと緊密に連携し、災害対策の運用に合わせたETERNUSディスクストレージシステムの制御を行い、仮想環境のビジネス継続性を高めます。

富士通主要ミドルウェアのvSphereへの取り組み

富士通では、vSphereによる仮想環境上でもお客様の業務運用を円滑に進められるよう、vSphere上で主要ミドルウェア製品の動作をサポートしています。



※ミドルウェア製品のサポート契約締結を前提に、VMware環境のゲストOS上における動作をサポートいたします（VMware環境が物理ハードウェア環境と互換性のある機能を提供している範囲で動作をサポートいたします）。

保守・運用支援サービス

製品購入から1年間、vSphereをサポートするFUJITSU Infrastructure Managed Service Support Desk Standardがバンドルされています。ヴィエムウェア社との緊密な連携と富士通がこれまでに蓄積した運用ノウハウにより、安心のサポートをご提供します。

●お客様専用ホームページSupportDesk-Webによる情報提供

修正情報や技術情報、セキュリティ情報などの提供を行います。Support Desk-Webにより、いつでも最新情報を閲覧することができます。お客様自身での問題解決が可能となり、トラブルの未然防止を図れます。

●VMwareのバージョンアップグレード

vSphereのバージョンアップグレードの権利が与えられます。Support Desk契約期間内であればいつでも、最新のバージョンを利用できます。

●専門スタッフによるQ&A対応／問題解決支援

電話・FAX・Support Desk-Web・E-mailによりVMwareに関するトラブル/Q&Aに、富士通サポートセンター(OSC*)の専門スタッフが対応。万一のトラブル時には、現象からの原因解析や回避策の提示などを行い、お客様の疑問・トラブルの早期解決を支援します。*OSC:One-stop Solution Center



【サービス時間帯】 ●月曜日～金曜日 8時30分～19時
(祝日および12月30日～1月3日を除く)
●24時間365日

【サービス期間】 VMwareご購入から1年間

※お客様登録完了後、サービス提供開始となります。
※VMware以外のハードウェア/OS/ミドルウェアのサポート、またはVMwareの2年目以降のサポートにつきましては、別途ご契約が必要です。

システムスタートアップサービス

PRIMERGYにvSphereを導入して仮想マシンを構築するサービスです。お客様のニーズに合わせた仮想マシンの構築、仮想マシン上へのゲストOSの導入手順の提示などをおこない、お客様システムの早期立ち上げをサポートいたします。

国内最大規模を誇るショールーム兼検証サポート施設「富士通トラステッド・クラウド・スクエア」

「富士通トラステッド・クラウド・スクエア」は、お客様のビジネスの成長を、お客様と共に先進のICTで具現化する、国内最大規模を誇るショールーム兼検証サポート施設（東京・浜松町）です。先進の仮想化技術によるICTインフラの最適化や、ICTのライフサイクルを踏まえた運用最適化など、「高信頼」に徹底的にこだわった富士通のクラウド・コンピューティングを構成する技術・製品・サービスを、デモンストレーションやセミナーを通してお客様に確認・体感していただけます。また、お客様システムの検証/ベンチマークを、専任エンジニアが強力にサポートします。



環境への取組み

マニュアルの電子化 自然保護、環境への配慮より、紙資源の節約への貢献を目的として、従来の印刷マニュアルを必要最小限におさえ、電子データ(PDF)で提供しています。



■このカタログは、2014年1月現在のものです。改良のため予告なしに仕様・デザイン等を変更することがあります。
■印刷の都合によりカタログの商品写真と実物では色彩が異なる場合があります。
■このカタログには、FSC®森林認証紙、植物油インキ、有害な廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。
■記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン

0120-933-200

受付時間 9:00～17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

廃棄・譲渡の際のハードディスク内データ消去について

ご使用になっていたPRIMERGYを廃棄・譲渡の際には、お客様の責任でハードディスクに記録された全データを消去することを強く推奨します。詳細につきましては、「インターネット情報ページ」(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/note/>)をご覧下さい。

●Support Desk紹介ページ「製品サポート」 <http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/>

▲安全に関するご注意 ご使用の際は、マニュアルの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。
表示された正しい電源・電圧でお使いください。
本製品に選択することができるCD/DVDドライブはレーザーを使用しています。 [クラス1レーザ製品]